

令和2年度丹波支援学校第1回学校運営協議会記録

令和2年9月4日(金)9:30～12:00

於:丹波支援学校研究室

○委嘱状交付

○各委員自己紹介

参加者:学校運営協議会委員(6名:1名欠席)、

校長、副校長、事務長、各学部総括主事3名

○開会挨拶(校長)

○学校運営協議会会長及び副会長選出

会長…青木好子委員 副会長…内藤政博委員

○丹波支援学校の概要説明

○授業参観 (小)自立活動、音楽、体育 (中)自立活動、美術 (高)作業学習

○本年度の本校の教育についての説明

○分校の教育についての説明

○教育課程等に関して学校運営協議会による「承認」

【学校運営協議会委員様の感想】

- ・ 子ども達の成長の陰には、多くの方の支援があることがよく分かった。多くの保護者の方にも、こういう機会があればよい。ぜひ見てほしい、知ってほしい。
- ・ 「盛り沢山で、お弁当にたくさんの物を詰め込もうとしている」という感じがした。子ども達本人がとても楽しそうにしていると思ったし、それが一番。今日はそれが見られてよかった。

○熟議

熟議テーマ「子ども達にどのような力を付けてほしいか」

人を幸せにするために一番必要なのは、「人」「学び」「役に立つこと」「自分」を好きになれる力。人を好きになったり、人とつながったりできる力を付けてほしい。

生きている中で、誰でも失敗はするもの。失敗したときにくじけずに、立ち直れる力を身に付けてほしい。自分で決めたことは、最後までやり続けてほしい。

子ども達がとても楽しそうにしていた。それが一番。「将来にわたって本人が楽しめるための支援とは何なのか」ということを改めて考えた。

困ったことがあっても周りの人に相談できる力を付け、「自分が身に付けた方法で人とかかわっていてもいいんだ」という自信をもってほしい。



「自分は自分でいい」「自分には自分の役割がある」ということを知ってほしい。自分を大切にできることで、相手の人も大切にできるようになれる。

○閉会挨拶(会長)